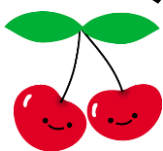


さくらんぼ



～やさしく・かしく・たくましく～

NO. 4 平成30年7月18日発行
山口大学教育学部附属幼稚園
URL: <http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

1学期も残すところあとわずか。

たくさんのご協力を頂き、ありがとうございました。

保育参加や親子遠足、ピーマン Jr.の会、幼稚園まつりなど、様々な行事へのご協力を頂いたおかげで、子どもたちは楽しい1学期を過ごすことができました。また、台風での休園、大雨での引き渡しなど、子どもたちの安全のためにご理解ご協力頂いたことも合わせて感謝しています。ありがとうございました。



先生や友達の側で楽しさを感じながら(花組)

入園して約3ヶ月が経ちました。園庭や保育室のいろいろなところで「見て、見て」「キャー」と明るい笑い声や楽しそうな声が聞こえてきます。友達の名前を呼び合う姿や、友達と同じものを身に着けて保育者に頼んでくる姿も増えてきています。

6・7月は雨が降ったり暑い日があったりしましたが、この時期ならではの遊びに親しんでほしいという思いで砂や水、泡などの場を用意してきました。子どもたちはプールを特に楽しみにしていて、プールの道具を初めて持ってきた日、「今日プールある？」とたくさんの子たちが聞いてきました。雨だったので「雨が降ってる日は入れないんだ。雨が止んだらいいんだけどね」と言うと「えー入りたい」と残念がる友達がいる中、A君は「え？じゃあ、今から雨がやむってこと？」と尋ねてきました。天気の方が自分に合わせて変わってくれるくらい自分の思いが中心にある3歳の世界っておもしろいですよね。A君の中でプールに入るということは決まっています、それほど楽しみなんだと伝わってきました。この日は入れませんでした。後日、晴れの日が続き、水遊びをたくさん楽しみました。花組はそれぞれのペースで水に親しんでいけるようにと大きさの違うビニールプールやジョウロや水車などいろいろな道具を準備しています。プールに入るとさっそく「キャー」と嬉しそうな声をあげながら水の中に寝転がったり、じょうろなどで水をすくったり、慎重にボールなどを浮かべたりなど各々のかかわり方で水に親しむ姿が見られました。私がペンギンの水鉄砲の口から水を空高く飛ばしてみせると、「僕はタコ」と言ってタコの水鉄砲をB君が持って来ました。私が「じゃあ、一緒に飛ばそう。3・2・1それー」と言うとB君も水を飛ばして「とんだー」と喜びます。するとそれを見たC君が「こ

こにもタコあるよ」と持って来ます。「C君もやる？」と聞くと「うん。はい」と渡して来ます。自分はやらないけど、友達や先生の遊んでいることや楽しんでいることをちゃんと見ていて、同じタコの水鉄砲が必要なんじゃないかなと思ったのだと感心しました。

子どもたちは自分のやりたいことを見つけ、そこで出会った友達とかかわりが生まれ、友達への意識が芽生えていきます。砂や水などの素材に触れて体中で存分に楽しんでいます。そこに先生や友達の存在があってこそ、より楽しい体験になっていくのではと思います。その楽しかった経験の積み重ねが友達といると楽しいなという気持ちにつながっていかばと思っています。段々友達が身近になっている花組さんです。引き続き温かいまなざしで見守っていただけたらと思っています。

(井上)



風組で過ごして楽しいな(風組)



幼稚園の生活を1年経験している進級児と附属幼稚園ってどんなところかなと楽しみにしてきた新入児とで始まった4月。お互いにどきどきしながら生活する姿が見られました。「先生来て」「先生見て」と保育者を頼りにしながら過ごしてきた子どもたちも、少しずつ好きなことや好きな人が見つかると、今では進級児も新入児も一緒になって遊んだり、お弁当を食べたりしています。

かかわりが増えてくるということは、嬉しいことが増えるとともに、思いの行き違いも出てきます。「～ちゃんが今遊ばって言った」「～くんが隣いけんって言った」など様々ですが、今は「なぜその子はそう言ったのか」を一緒に聞いていくことを、丁寧にしているところです。ある日、ステージで踊っていたAちゃんに、Bちゃんが別の事をして遊ぼうと声をかけてきました。いつもなら、「いや、しない」と思いをまっすぐ伝えてくるので、どうするかを見守っていると、AちゃんはBちゃんに向かって、「Bちゃんごめんね。Aは今、エルサのショーをするから行かないの」とやさしく伝えました。それを聞いたBちゃんは、「わかった！じゃあ終わったら来てね」と返していました。このように、自分の思いも伝えつつ、相手の思いに少しずつ気づいていける、すてきな時間を過ごしている子どもたちです。

1学期も、もう少しで終わりますね。朝、保護者の方と一緒に保育室で支度をしたり、「お母さんと一緒にいい」と涙が出たりしていた日々が懐かしく思えるくらい、子どもたちは風組での生活を楽しむようになってきました。子どもたちが安心して保育室に入り、自分で支度ができたと自信がつくまで、しっかりと保護者の方が見守ってくださったおかげです。ありがとうございました。夏休み、ご家族での時間を十分に満喫して頂いて、2学期からまたどうぞ、よろしくお願ひいたします。

(厚東)

1学期の楽しい思い出(星組)

7月になり、シール帳の新しいページをめくると



「夏休みのシールがあるね！」と嬉しそうに話す声が聞こえてきました。ドキドキワクワクで迎えた4月から、もう3か月も経ちました。星組になったばかりの頃は、新しい部屋や先生にちょっぴり緊張していた子どもたちも、今では、すっかり附属幼稚園の年長さんの顔になっています。

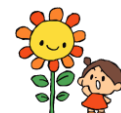
「もう7月だね！星組さんになってから、どんなことが楽しかったかな？」と子どもたちに尋ねてみました。

「箱をいっぱい使って製作するのが楽しかった！」と話すA君。ピタゴラスイッチ、魚がいっぱいの水族館、食べ物屋さんといろんな製作をみんなで楽しみましたね。くり返し遊ぶ中で、凶鑑を見ながら工夫してついたり、友達と一緒に考えたりする姿も見られるようになりました。最近では、女の子と男の子でそれぞれつくった遊びを合体させて、「ペンギンカフェ」を開いて楽しんでいます。「ここで魚を釣ってください！」と男の子がお客さんを案内し、「釣った魚は私たちが料理しますよ！」と白いエプロンをつけた女の子がもてなします。遊びがつながり、子どもたちもつながり、友達と一緒に盛り上げようと協力して楽しんでいた子どもたちです。

「跳び箱ができるようになったよ！」「鉄棒も頑張ったよ！」と嬉しそうに話すBちゃんとCちゃん。はじめは、恐るおそる2段や3段を跳んでいた子どもたちも、繰り返し挑戦したり、友達に応援してもらったりしながら、今では4段、5段、6段もできるようになりました。「先生、できるようになったよー！」と話す子どもたちのキラキラした表情がとても印象的でした。

「料理もしたよね。カレーもつくったね。」「ホットケーキもおいしかったねー！」と思い出しながら、楽しそうに話す声も聞こえてきました。自分たちで植えたり収穫したりした野菜を使って、いろいろな料理をつくりましたね。花組さんや風組さんにも料理をふるまい、優しく声をかける星組さんは、頼もしいお兄さんとお姉さんの顔になっていましたよ。夏野菜も続々と収穫し、キュウリの塩もみやナスとピーマンの甘辛い味を自分たちで調理して味わいました。「猫の手で切るんだよ！」「もう少し小さい方が食べやすいんじゃない？」と友達同士で教え合うこともできるようになりました。

もうすぐ1学期が終わります。あっという間の3か月でしたが、子どもたちの成長もたくさん見ることができました。今日は何をしようか、昨日よりもっとこうしようと、日々遊びを楽しむ中で子どもたちはいろいろなことを経験し、学んでいるのだなと感じています。夏休みもしっかりと楽しんで、さらにパワーアップした子どもたちに会えることを楽しみにしています！(高橋)



子どもたちは4月よりもぐんと心も体も大きくなりました。2学期3学期とまた、ぐんと大きくなる助走をつけるためにも、夏休みは、親子で楽しくゆったりとした時間をお過ごしください。また9月に元気な子どもたちと保護者の皆様にご会えることを楽しみにしています。(編集：厚東)